

コーポレート

TDK、FTSE Russell が提供する 3 つの ESG 投資インデックスの構成銘柄に選定

2026 年 8 月 6 日

TDK 株式会社（社長：齋藤 昇）は、グローバルインデックスプロバイダーである FTSE Russell 社が提供する、ESG 投資における代表的なインデックスである「FTSE4Good Index Series」および「FTSE JPX Blossom Japan Index」に 10 年連続、「FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index」に 5 年連続で選定されました。

調査対象企業の事業特性をもとに潜在的な ESG（環境、社会、ガバナンス）リスクに対する取り組みを評価する FTSE Russell ESG Rating においては、各分野で当社のサステナビリティに関する取り組みおよび情報開示の内容が総合的に評価され、昨年に引き続きスコア 4.8（5 点満点）を維持しました。

これらのインデックスは、年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）をはじめとする機関投資家によるサステナブル投資のベンチマークとして広く活用されています。なお、現在当社は、これらの 2 つの指数を含む GPIF が採用している以下 5 つの ESG 投資指数（国内株式）に選定されています。

- FTSE JPX Blossom Japan Index
- FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index
- MSCI 日本株 ESG セレクト・リーダーズ指数
- S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数
- Morningstar 日本株式ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト指数（除く REIT）

今後とも、経営理念に基づき事業を通じた社会課題解決を目指すことを基本とするとともに、長期ビジョンである「TDK Transformation -サステナブルな未来のために、TDK は変わり続ける-」を掲げ、サステナブルな未来の実現に貢献してまいります。

TDK 株式会社について

TDK 株式会社（本社：東京）は、エレクトロニクス業界のグローバルテクノロジー企業であり、イノベーションリーダーを目指しています。ブランドアイデンティティの新しいタグライン「In Everything, Better」のもと、TDK は生活、産業、社会のあらゆる側面でもより良い未来の実現を目指しています。90 年にわたり、「創造によって文化、産業に貢献する」という社是に基づき、TDK は電子機器の中から世界の発展に貢献してきました。先駆的なフェライトや時代を象徴するカセットテープにはじまり、最先端の受動部品、センサ、バッテリーによってデジタル時代でつながる世界を支え、サステナブルな未来への道を切り拓いています。TDK のベンチャースピリットによって融合することにより、世界中の情熱的なチームメンバーが、私たち自身、お客様、パートナー、そして世界のためにより良いものを追求しています。TDK の最先端技術は、産業用途、エネルギーシステム、電気自動車からスマートフォンやゲーム機まで、あらゆるものに活用され、現代生活の中心にあります。

TDK の多様で最先端の製品ポートフォリオには、受動部品、センサおよびセンサシステム、電源、リチウムイオン電池や全固体電池、磁気ヘッド、AI およびソフトウェアソリューションなどがあり、その多くが市場をリードしています。製品ブランドとしては、TDK、InvenSense、Micronas、Tronics、TDK-Lambda、TDK SensEI、ATL があります。現在、TDK は AI エコシステムを重要な市場と位置付け、自動車、ICT、産業機器分野におけるグローバルネットワークを活用し、幅広い分野で事業を拡大しています。2026 年 3 月期の売上は約 2 兆 5,000 億円、従業員総数は全世界で約 107,000 人です。

本文および関連する画像は https://www.tdk.com/ja/news_center/press/20260806_01.html からダウンロードできます。

報道関係者の問い合わせ先

担当者	所属	電話番号	Email Address
伊藤	TDK 株式会社 広報グループ	+81 3 6778-1055	TDK.PR@tdk.com